



ひがしっ子

学校通信 第14号
令和3年10月18日(月)
久留米市立東国分小学校
校長 秀島 一生
児童数 637名

学びを発信！ 人権文化祭に向けて

緊急事態宣言の影響もあり、2日の運動会が終わったと思ったら、すぐに、人権文化祭の準備となりました。23日(土)の人権文化祭では、各学年で人権に関する学びを発表します。仲間と力を合わせ、友だちを大切にすることや福祉に関すること、公害の経験から学ぶことなど様々な人権に関する学習を行っています。そして、その学びを本年度も保護者のみなさまに発信していきます。



4年:視覚障害のあるGTとの学習



2年 スイミー劇

開催方法としては、昨年同様、午前中の開催で、学年別に時間を分け、保護者の参観は、1家族1名のご案内となります。なかなかすっきりとオープンにご参観いただくことができませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、その日の午後には、「明星中校区人権のつどい」も行われます。本校体育館でも、リモートで配信され、視聴できます。東国分小学校からは、2年生と6年生の学びを録画したものを発表します。つどいの方へのご参加もよろしく願います。

いじめに関する保護者アンケートへのご協力に感謝

10月は、久留米市の取組として「いじめ問題対応強化月間」となっています。この取組の1つとして、本校でも保護者アンケートを実施いたしました。お忙しい中、アンケートへの回答をいただき、ありがとうございました。

アンケートの内容については、保護者や子どもたちへの聞き取りを実施し、ていねいに対応しているところです。今後も気になることがありましたら、いつでも学校の方にご相談下さい。



オンライン授業による成果と課題

9月までの緊急事態宣言に伴い、学校は午前授業で、午後から、プリントによる課題やオンライン授業等で学習を進めました。

特に、オンライン授業に関しては、学校の対応も後手後手になり、十分行き届いた授業とはならなかった所も多く、課題が明らかになってきました。ご不満を持たれたご家庭もあったのではと反省している所です。



教室から家庭に配信

ただ、子どもたちの中には、新たな学習のスタイルとして、すぐにスキルを身に付けた子どももいて、子どもの柔軟さには驚かされました。

今後のタブレット活用については、学校における学習での活用が中心となってきますが、また、緊急事態宣言等によるオンライン授業となる場合に備え、教職員の研修や子どもたちのネットモラル学習等も学校で進めていく予定です。

久留米市からも、家庭でのWi-Fi環境整備についてのお知らせ準備が進んでいるようです。これからは、オンライン授業も充実できるのではと期待しています。

<気になっています>



オンライン授業のために、タブレットを持ち帰らせていました。学校からは、「タブレットは学習以外では使わない。」「先生から言われたアプリ以外は使わない。」との約束を指導しておりましたが、やはり、動画を見たり、ゲームをしたりした様子がありました。

タブレットを持ち帰った場合、ご家庭でもぜひ、どんな学習をしたのか話題にしてみてください。子どもたちをインターネットトラブルから守るためにも、タブレットを持ち帰った場合は、関心を寄せていただくようお願いいたします。

定数要求の署名をお願いします。

本日、子どもたちにお手紙を配付していますが、本年度も明星中校区における定数要求の署名のお願いをいたします。

この署名の目的は、子ども達に確かな学力をつけるために、教職員の定数を増やすことを求めるための署名です。東国分小学校においても、教職員が加配されることにより、少人数に分けて指導することができます。そして、きめ細やかに子どもたちへの対応ができるようになります。



子ども達の教育条件が良くなりますように署名の協力をお願いします。本件の趣旨に賛同していただける方であれば、校区外の方でもかまいません。来月、11月26日(金)までに担任までご提出下さい。よろしく願います。